

## ＜令和元年度主要事業＞

第7次小樽市総合計画の「まちづくり 6つのテーマ」等に基づき、本年度実施した主な事業は次のとおりです。

【◎＝新規 ☆＝拡大（括弧内の金額は予算現額）】

### 1 安心して子どもを生み育てることのできるまち（子ども・子育て）

- ◎① 病児保育事業費補助金 2,831千円(4,275千円)  
・市内の保育所・幼稚園・認定こども園、小学校に通う1歳6か月から小学校2年生までの児童を対象に、病気になった際の一時保育を実施する学校法人小樽学園いなほ幼稚園に対する補助
- ② 民間保育施設等整備支援事業費補助金 48,489千円(48,489千円)  
・学校法人小樽学園いなほ幼稚園が行う、認定こども園舎や病児保育棟などの施設整備に係る経費の一部を補助
- ◎③ 不妊検査助成事業費 400千円(1,000千円)  
・保険医療機関で実施した不妊検査に要した費用（自己負担分）について、2万円を上限に助成  
〔令和元年度〕助成件数：27件
- ④ 周産期医療支援事業費補助金 16,000千円(16,000千円)  
・北後志5町村と連携して、安定的な周産期医療体制の維持のため、地域周産期母子医療センターである小樽協会病院を支援
- ⑤ こんにちは赤ちゃん事業費 2,368千円(3,200千円)  
・生後4か月までの子どもがいる全家庭を保健師又は助産師が訪問し、育児に関する不安や悩みの相談、育児に関する情報提供を実施

- ☆⑥ こども医療費助成 162,486千円(168,444千円)  
〈道の施策分100,553千円(102,639千円)、市の施策分61,933千円(65,805千円)〉  
・北海道と市独自の助成制度により、就学前のこども及び小中学生の医療費の自己負担分の一部を助成  
・平成31年4月から、新たに中学生の入院医療費を助成対象に追加
- ⑦ 児童扶養手当経費 815,970千円(826,400千円)  
・「ひとり親家庭」の生活の安定と自立を支援するための手当を支給  
・令和元年11月分から、2か月に1回、奇数月に支払（支払回数を年3回から年6回に変更）
- ⑧ 子ども・子育て支援事業計画推進事業費 296千円(480千円)  
・「第二期小樽市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～6年度）」を策定
- ◎⑨ ニュースポーツ用具購入費 327千円(330千円)  
・小中学生、高校生を対象とした新年子ども会等のイベントやリーダー養成研修の内容充実のため、フロアカーリングなどの気軽に楽しめるニュースポーツ用具を整備
- ⑩ 教育支援センター関係経費 7,184千円(7,500千円)  
・小中学校における不登校児童生徒に対し、カウンセリングや個々の学力に応じた学習支援などを行うほか、不登校の未然防止及び学校教育上又は生徒指導上の課題の解決のため、児童生徒や保護者、教職員からの相談に対応
- ◎⑪ 子どもの学習・生活支援事業費 4,262千円(4,269千円)  
〈こども福祉課2,845千円(2,846千円)、生活サポートセンター1,417千円(1,423千円)〉  
・ひとり親家庭、生活保護世帯、生活困窮世帯の中学1年生～3年生を対象として、学習の支援や困りごと相談に応じるなど、生活支援を実施

- ⑫ 小学校英語教育推進事業費 1,498千円(1,500千円)  
 ・令和2年度に導入される小学校3年生からの英語教育を見据え、全小学校の3～6年生の外国語活動に外部講師を派遣
- ◎⑬ 嘱託報酬（部活動指導員） 1,136千円(2,016千円)  
 ・教職員の働き方改革や部活動指導の充実を図るため、中学校の部活動指導員として、専門知識のある人材を任用
- ◎⑭ 教育用パソコン整備事業費 14,230千円(14,356千円)  
 <小学校10,848千円(10,957千円)、中学校3,382千円(3,399千円)>  
 (債務負担行為額〔令和2～7年度〕小学校128,385千円(129,461千円)、  
 中学校77,798千円(78,177千円))  
 ・小学校では、令和2年度から開始されるプログラミング教育も見据え、動画撮影、プレゼンテーションなど、様々な場面で活用できるタブレット型パソコンを整備  
 ・中学校では、パソコン教室のデスクトップ型パソコンの更新と、様々な場面で活用できるタブレット型パソコンを整備  
 ・総額219,146千円（令和元～7年度で支払）
- ⑮ ICT教育促進事業費 2,718千円(3,400千円)  
 ・中学校2年生の普通教室にデジタルテレビを整備
- ☆⑯ 学校図書館整備費 16,534千円(16,980千円)  
 <小学校9,827千円(10,244千円)、中学校6,707千円(6,736千円)>  
 ・学校図書の整備のほか、学校図書館活動の活性化と児童生徒の読書習慣の定着を図るため、学校司書を配置  
 ・令和元年度は、司書配置数を拡充(中学校1校→2校)
- ◎⑰ ふるさとキャリア教育推進事業費 480千円(600千円)  
 ・子どもたちが「ふるさと小樽」のよさに気づき、自己の将来を考える機会を設けることで、小樽の将来を担う人材を育成  
 ・令和元年度は、キャリア教育推進会議、外部講師による出前授業、進路説明会、遊覧屋形船における講話、潮音頭の指導などを実施
- ⑱ 小樽市民俗芸能伝承事業費 249千円(250千円)  
 ・地域の伝統文化を保存継承するため、本市の文化財である「松前神楽」「向井流水法」「高島越後盆踊り」の講師を小中学校に派遣し、児童生徒が体験する機会を創出
- ◎⑲ 「小樽の歴史」作成経費 1,689千円(1,700千円)  
 ・小学校5・6年生を対象に、本市の自然や歴史、伝統、文化、産業等について学ぶための教材「小樽の歴史」を作成
- ☆⑳ コミュニティスクール導入等促進事業費 405千円(700千円)  
 ・学校運営や学校の課題に対して保護者や地域住民が参画する「学校運営協議会制度」（コミュニティ・スクール）を推進するため、導入校の活動支援や、導入準備校における地域説明会などを実施  
 ・令和元年度は、3校（花園小学校、手宮中央小学校、北陵中学校）が導入
- ㉑ 教育支援活動推進事業費 1,150千円(1,898千円)  
 ・地域住民がボランティアとして小中学校の授業補助などを行う「学校支援ボランティア事業」、土曜日に体育館や図書館を開放して各種体験教室を行う「おたる地域子ども教室」、家庭教育に関する講座や子供の体験講座などを実施
- ㉒ 「樽っ子学校サポート」関係経費 218千円(300千円)  
 ・市内の高校生・大学生や地域住民を小中学校に派遣し、放課後や長期休業等における児童生徒の学習を支援

㊸ 校舎等耐震補強等事業費（幸小） 664,868千円(702,745千円)

- ・校舎及び屋内運動場の耐震補強並びに大規模改造を実施

㊸㉔ 校舎等耐震診断経費 5,192千円(11,000千円)

- ・耐震診断未実施の学校施設に対する耐震診断を実施  
令和元年度：塩谷小（校舎）、桂岡小（屋内運動場）

㊸㉕ 学校移転事業費（松ヶ枝中学校） 85,804千円(87,000千円)

◇校舎等改修事業費 80,400千円(81,146千円)

◇移転等経費 5,404千円(5,854千円)

- ・松ヶ枝中学校を旧最上小学校へ移転するに当たり、校舎・屋内運動場等の改修及び設備等の移設を実施
- ・令和2年4月移転開校

㊸㉔〔国民健康保険事業〕糖尿病性腎症重症化予防事業費 2,917千円(5,148千円)

- ・糖尿病の悪化による人工透析への移行を防ぐため、小樽市医師会と連携し「小樽市糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定するとともに、未受診者勧奨や保健指導を実施

㊸㉕ 受動喫煙対策促進事業費 278千円(440千円)

- ・望まない受動喫煙の防止を図るため、受動喫煙による健康影響等についてポスターなどで周知するとともに、施設管理者などを対象に受動喫煙防止対策に関する説明会の開催や飲食店などにおける受動喫煙防止対策を推進

㊸ ⑥ 地域自殺対策緊急強化推進事業費 243千円(250千円)

- ・「小樽市自殺対策計画」に基づき、地域のネットワーク強化、自殺対策を支える人材育成、市民への周知・啓発などの自殺対策を推進

㊸ ⑦ 低所得者・子育て世帯プレミアム付商品券事業費 356,473千円(976,112千円)

(うち13,011千円(13,011千円)は平成30年度から繰越)

(予算現額のうち27,067千円は令和2年度へ繰越)

- ・令和元年10月からの消費税率引上げによる消費への影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起することを目的として、市民税非課税世帯と子育て世帯を対象に、プレミアム付商品券を販売

〔販売価格〕1冊4千円(5千円分)、プレミアム率20%

〔販売冊数〕66,268冊

〔使用期間〕令和元年10月～令和2年3月

## 2 誰もがいきいきと健やかに暮らせるまち（市民福祉）

① ふれあいパス事業費 208,706千円(215,479千円)

- ・70歳以上の市民を対象に「ふれあいパス」（バス乗車証又はJR特殊乗車券）を交付

㊸〔介護保険事業〕地域住民グループ支援事業費 1,626千円(2,450千円)

- ・ボランティアで介護予防に資する活動を行おうとする地域住民のグループに対し、地域活動組織の育成及び支援のための助成金を交付  
〔令和元年度〕助成件数：24件

☆㊸③ 障害者タクシー利用助成事業費 7,672千円(9,208千円)

- ・下肢、体幹、移動機能障害1・2級、視覚障害1・2級、腎臓機能障害1級の方にタクシー助成券を交付
- ・令和元年度から交付対象に視覚障害2級を追加

### 3 強みを生かした産業振興によるにぎわいのまち（産業振興）

① 農業次世代人材投資事業費補助金 6,000千円(6,000千円)

・国の制度を活用し、新規就農者に経営確立に係る資金を交付

〔令和元年度〕助成件数：5件

② 水産物ブランド化推進事業費 1,496千円(3,400千円)

・小樽の地魚や水産加工品の知名度アップと消費拡大、水産加工品の新商品開発やブランド化を図る取組を支援

・令和元年度は、首都圏の社員食堂でのおさかなフェア等でのPR、小樽水産加工グランプリ受賞商品の宣伝・販路拡大、水産加工品データベースの更新などを実施

③ 海外販路拡大支援事業費 3,330千円(3,650千円)

・海外への販路拡大を目的とした商談会・展示会等への参加費用補助や、札幌市との連携事業による海外物産展や展示商談会への出展支援、産学官連携によるベトナム市場開拓のための商談会等を実施

◎④ 稼ぐ力向上実践事業費 7,258千円(7,600千円)

・市内及び後志管内の食料品関係事業者を対象として、全国規模の商談会への参加、商品特性や供給能力に適した新たな販路の開拓及び販売の実践、商品の磨き上げ相談を実施

⑤ にぎわう商店街づくり支援事業費 3,584千円(5,400千円)

・小樽市商店街振興組合連合会所属の商店街が行う、にぎわい創出や魅力向上の取組のうち、新規又は既存の事業内容を発展させる事業に対する助成

〔令和元年度〕助成件数：6件

⑥ 商店街活性化支援事業費 1,981千円(2,000千円)

・商店街や市場等が行うイベントや魅力向上のための宣伝事業や商店街への回遊性の向上を図る事業などに対する助成

〔令和元年度〕助成件数：15件

◎⑦ 旧国鉄手宮線整備事業費 2,933千円(3,000千円)

・市民との協働により枕木花壇を更新し、景観の充実を図るとともに、臨港線～長橋線区間における落石進入防止のための調査及び応急対応を実施

⑧ 創業支援事業費 8,114千円(25,000千円)

・新規創業者に対して、家賃や内外装工事費など事業開始にかかる費用の一部を助成

〔令和元年度〕助成件数：10件

⑨ 中小企業振興会議運営経費 197千円(530千円)

・小樽市中小企業振興基本条例に規定する「施策の基本方針」の具体化に向けた調査・審議を実施

⑩ 観光案内所運営費交付金 26,600千円(26,600千円)

・国際インフォメーションセンター、JR小樽駅及び浅草橋の観光案内所の運営に要する経費を交付（小樽観光協会）

・令和元年度は、外国人観光客対応を強化するため、通訳スタッフを1名増員

⑪ 日本遺産認定関係経費 650千円(650千円)

・地域型（小樽市単独）日本遺産の令和2年1月の申請を目指し、日本遺産ストーリーの構築や文化庁との協議などを実施

◎⑫ 北前船寄港地フォーラムin北海道小樽・石狩実行委員会補助金  
2,000千円(2,000千円)

- ・平成30年度に本市が追加認定された日本遺産ストーリー「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」のフォーラムを、石狩市と共同で開催

⑬ 日本遺産地域活性化事業費 1,771千円(1,775千円)

- ・フェリーで北前船の歴史や本市の構成文化財を紹介する「北前船ストーリー船上講座」や、北前船日本遺産推進協議会が行う事業への参画など、地域活性化の取組を実施

☆⑭ 朝里川温泉組合補助金 1,300千円(1,300千円)

- ・朝里川温泉地域の資源の調査研究、美化の推進、観光客誘致促進等を実施している組合への補助
- ・令和元年度は、新たにヘルスツーリズムの推進に向けた海外への情報発信事業を支援

⑮ ロケツーリズムによるシティプロモーション事業費補助金  
1,000千円(1,000千円)

- ・ロケとご当地グルメの祭典「全国ふるさと甲子園」に出展して、映像制作関係者などに本市をPRし、映画・ドラマなどの大型ロケの誘致などを推進
- ・「小樽産焼ほたて串」でグルメ賞「惣菜・おつまみ・その他部門2位」を獲得

⑯ 観光誘致促進事業費補助金 5,900千円(5,900千円)

- ・さらなる国内外観光客の誘致や観光客の滞在時間延長を図るために実施する小樽観光協会の各種事業運営に対する補助（小樽観光協会）
- ・ナイトマップの作成、冬季イベント、フィリピン旅行博出展をはじめとする海外・道内・道外へ向けた観光プロモーションを実施

◎⑰ 堺町通り商店街公衆無線LAN延長整備事業費補助金 820千円(820千円)

- ・公衆無線LANエリアを、色内大通りまで拡張整備する事業費の一部を助成

◎⑱ 観光ポスター等制作事業費 2,760千円(3,000千円)

- ・東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、様々な場面で活用できるPRツールである観光ポスター及び同デザインのポストカード、クリアファイルを、新たに作成

⑲ 小樽港物流促進プロジェクト事業費 1,000千円(1,000千円)

- ・小樽港の物流促進のため、ロシア沿海地域へのポートセールスや、国内ポートセールスを実施

◎⑳ [港湾整備事業] 多目的荷役機械延命化対策事業費 255,800千円(259,200千円)

- ・故障が多発している多目的荷役機械（ガントリークレーン）の延命化対策工事（平成30～令和2年度）  
令和元年度：横行レール、PC、PLC、インバータ、エンジン発電機を更新

◎㉑ 港内泊地しゅんせつ事業費 55,941千円(66,900千円)

- ・パナマックス船の入港に必要な水深確保のため、勝納泊地のしゅんせつを実施  
令和元年度：泊地のしゅんせつ（A=26,243㎡）

㉒ 小樽港クルーズ推進事業費 9,866千円(15,857千円)

- ・東京での「小樽港クルーズ・プロモーション」や船社等の企業訪問、寄港時の歓迎行事や交通整理等の安全対策を実施

㉓ 環日本海クルーズ推進事業費 1,258千円(1,290千円)

- ・小樽港、秋田県3港、伏木富山港、京都舞鶴港、境港の5地域で共同して、日本海側クルーズのブランド化と寄港促進を図るため、外国語ホームページによる各港のPR、船社へのプロモーションなどを実施

- ②④ 国直轄工事費負担金(港湾施設)
- ◇北防波堤改良事業費 2,379千円(15,000千円)
- ・老朽化した防波堤の改良による施設の延命化  
令和元年度：深淺測量等
  - ※令和元年度全体事業費：10,000千円  
(うち市負担1.5/10=1,500千円、前年度精算追徴金=879千円)
- ◇第3号ふ頭岸壁改良事業費 113,424千円(134,000千円)
- ・老朽化が進んでいる第3号ふ頭の16番岸壁及び17番岸壁を改良  
令和元年度：移転補償費等
  - ※令和元年度全体事業費：402,000千円  
(うち市負担1/3=134,000千円、前年度精算還付金=20,576千円)
- ◇第3号ふ頭泊地改良事業費 17,139千円(21,600千円)
- ・岸壁の老朽化対策と合わせて泊地のしゅんせつを行い、大型客船の接岸が可能となるよう施設整備を実施  
令和元年度：泊地のしゅんせつ(A=1,543㎡)
  - ※令和元年度全体事業費：53,000千円  
(うち市負担1.5/10=7,950千円、前年度追徴金=9,189千円)

- ②⑤ 港湾改修事業費
- ◇色内ふ頭老朽化対策事業費 135,004千円(179,212千円)
- ・老朽化した色内ふ頭護岸の機能回復及び延命化のため、護岸改良工事を実施  
令和元年度：南側護岸改良 防食工(L=343m)等
  - ※令和元年度全体事業費：310,017千円(うち下水道会計負担分175,013千円)

- ②⑥ [港湾整備事業] ひき船建造事業費 327,700千円(330,000千円)
- ・小樽港に入港する大型船に対応するため必要不可欠なひき船について、民間船会社から、借りていたひき船の裸用船契約満了に伴い後継船を新たに建造

- ☆②⑦ 港湾計画改訂事業費 7,672千円(10,620千円)
- (債務負担行為額〔令和2年度〕33,781千円(36,520千円))
- ・港湾計画改訂に向けて、港湾計画検討業務と長期構想検討業務を実施(令和元～2年度)  
令和元年度：港湾計画検討業務 資料収集整理等  
長期構想検討業務 第2回委員会・幹事会、第3回幹事会の開催及び資料作成

- ②⑧ シルバー人材センター事業費補助金 11,300千円(11,300千円)
- ・高齢者の就業機会を確保するシルバー人材センターに対する補助
  - ・令和元年度は、人手不足の企業等での高齢者の就業を促進するため事務局体制の拡充を図り、マッチング機能を強化

- ◎②⑨ 若者就職マッチング支援事業費 1,815千円(2,600千円)
- ・高校生や大学生など若者の就職率向上及び地元定着のため、市内企業の見学会や出前説明会、インターンシップ等を実施

- ③⑩ 小樽地域雇用創造協議会貸付金 10,000千円(10,000千円)
- ・厚生労働省の実践型地域雇用創造事業を活用し、事業主及び求職者向けのセミナーや、企業説明会、食資源を生かした観光商品開発などの雇用創出事業を行う協議会の運営を支援

#### 4 生活基盤が充実した安全で暮らしやすいまち(生活基盤)

- ① 臨時市道整備事業費 322,900千円(350,000千円)
- ・市民生活の安全及び円滑な交通を確保するため、市道の老朽化路線の更新や溢水対策などの道路改良を実施  
令和元年度：長橋線ほか20路線

- ② 橋りょう長寿命化事業費 284,648千円(419,385千円)  
 ・「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、老朽化した橋りょうの長寿命化と維持管理コストの縮減を図るため、修繕等を計画的に実施  
 令和元年度：〔修繕工事〕 銭函高架橋ほか2橋  
 〔耐震化工事〕 銭函高架橋  
 〔撤去工事〕 小樽内橋
- ③ 空き家対策事業費 1,790千円(2,200千円)  
 ・「空家等対策計画」に基づく施策の推進と、適切に維持管理されていない「特定空家等」に対して法に基づく助言・指導・勧告などを実施
- ④ 特定空家等住宅除却費助成事業費 3,000千円(3,000千円)  
 ・「特定空家等」で、かつ危険度・緊急度が高い「不良住宅」の除却費用の一部を助成  
 〔令和元年度〕 助成件数：10件
- ⑤ 移住促進事業費 1,258千円(1,262千円)  
 ・居住地としての小樽の情報発信・PRを行い、潜在的な移住希望者の掘り起こしを行うほか、体験ツアー等を実施
- ⑥ 除雪費 1,192,717千円(1,604,900千円)  
 ・冬期間における円滑な道路交通を確保し、市民の快適な冬の暮らしや経済活動を支えるため、バス路線及び主要通学路を優先した、計画的で効率的な除排雪を実施するとともに、雪対策基本計画の策定に着手
- ⑦ 建設機械整備費 47,850千円(55,000千円)  
 ・安定的な除排雪体制確保のため、市所有の除排雪機械を計画的に増強・更新し、除排雪業務受託業者に貸与  
 令和元年度：ロータリ除雪車2台更新
- ⑧ ロードヒーティング更新事業費 82,283千円(145,468千円)  
 ・老朽化したロードヒーティング施設を計画的に更新  
 令和元年度：西通線、長橋線
- ⑨ 都市計画マスタープラン推進経費 8,211千円(9,000千円)  
 ・第2次小樽市都市計画マスタープラン（令和2～21年度）を策定
- ⑩ 北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会関係経費 59千円(62千円)  
 ・北海道新幹線新小樽（仮称）駅開業に向け、駅周辺のまちづくりや、2次交通、ソフト対策などについて、官民一体となって協議
- ⑪ 北海道新幹線建設費負担金 8,045千円(17,180千円)  
 ・北海道新幹線建設費用に係る負担金  
 令和元年度：朝里トンネル工事等
- ⑫ 地域公共交通活性化事業費 1,066千円(1,113千円)  
 ・持続可能な地域公共交通ネットワークの構築を目的とする「地域公共交通網形成計画」を策定  
 ・「地域公共交通網形成計画」に基づく施策として、外国人観光客のバス利用を促進するため、多言語（英語・中国語）の公共交通マップを作成
- ⑬ 鉄道駅バリアフリー化設備等整備事業費補助金 32,601千円(75,500千円)  
 （うち32,601千円(35,000千円)は平成30年度から繰越）  
 （予算現額うち40,500千円は令和2年度へ繰越）  
 ・鉄道駅バリアフリー化のための施設整備にかかる費用の一部を補助（補助率：国1/3、市1/3、事業者1/3）（平成30～令和4年度）  
 令和元年度：こ線橋製作等（南小樽駅）

- ◎⑭ 非常時停電対策関係経費 33,147千円(35,024千円)
- ・指定避難所（小学校18校、中学校12校、公立保育所4園、その他1施設）  
12,493千円(12,531千円)  
ポータブル発電機、投光器、赤外線ヒーターなどを配備
  - ・葬斎場 201千円(202千円)  
非常用電源接続用コンセントを新設
  - ・清掃事業所 70千円(120千円)  
ポータブル発電機を更新
  - ・公立保育所 255千円(297千円)  
石油ストーブ、携帯用ランタン、電話機（手宮保育所）を配備
  - ・夜間急病センター非常用発電機整備事業費 15,125千円(15,800千円)  
非常用電源設備を整備
  - ・保健所庁舎 340千円(550千円)  
ポータブル発電機を配備
  - ・教育委員会庁舎 132千円(150千円)  
ポータブル発電機を配備
  - ・住宅事業 389千円(450千円)  
市営銭函住宅の集会室の水道・便所を停電時に非常用として提供できるよう、給水設備を直圧化
  - ・病院事業 446千円(524千円)  
病院内保育所及び厨房機器類の電気設備について、停電時の非常用電源への接続を可能とするための配電盤等の改修を実施
  - ・水道事業 3,696千円(4,400千円)  
停電時の断水対策として、天神、豊倉の各浄水場及び天神送水ポンプ所に可搬形発電機を配備

- ☆⑮ 防災関係経費(防災行政無線(同報系)整備事業) 144,870千円(150,000千円)
- ・津波や高潮の災害時に、沿岸の住民及び観光客等へ避難情報を迅速・確実に伝達するため、防災行政無線（屋外スピーカー）を整備（平成29～令和2年度）  
令和元年度：親局、副局、屋外スピーカー13か所（蘭島～手宮）を整備
- ◎⑯ 防災情報通信設備整備事業費 6,490千円(10,000千円)
- ・市内全域に災害時の情報提供を行えるよう、FMおたるの難聴地域を解消するための送信局を増設（令和元～2年度）  
令和元年度：電波伝搬調査、実施設計
- ⑰ 防災関係経費(防災訓練支援事業) 177千円(182千円)
- ・各町会の地域防災力の向上を図るため、防災訓練の教材等を支援し、町内会等における防災訓練の実施と住民参加を促進
- ☆⑱ 防災関係経費(避難支援事業) 2,219千円(2,451千円)
- ・星置川・新川の新たな洪水浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップや、土砂災害警戒区域の土砂災害ハザードマップを作成
  - ・災害時に避難の支援が必要な方の名簿を作成
- ⑲ 機動力増強・近代化事業費 67,541千円(69,000千円)
- ・災害対応特殊化学消防ポンプ自動車1台の更新
- ⑳ (仮称)消防署手宮支署建設事業費 14,852千円(21,000千円)  
(債務負担行為額〔令和2年度〕653,658千円(697,000千円))
- ・「小樽市消防長期構想」に基づき、消防署手宮出張所と高島支所を統合し、新庁舎を建設(平成30～令和2年度)  
令和元年度：実施設計



◎㉑ 消防・防災施設整備費 10,999千円(11,000千円)  
・災害発生時に必要な資機材の搬送のほか、広報車として活用可能な消防団の小型動力ポンプ付積載車1台を更新

② 消防団員安全装備品等整備事業費 575千円(580千円)  
・津波や河川の氾濫などの災害発生時に消防団員が安全に活動するために救命胴衣を整備

## 5 まちなみと自然が調和し、環境にやさしいまち（環境・景観）

① 廃棄物最終処分場拡張整備事業費 50,220千円(55,000千円)  
〈一般会計45,700千円(50,050千円)、産廃特会4,520千円(4,950千円)〉  
・埋立容量がひっ迫してきたことから、一般廃棄物最終処分場（桃内）の延命化のための整備（平成29～令和2年度）  
令和元年度：トラックスケール、浸出水処理施設自動制御装置等を更新

◎② ごみ収集車購入経費 21,254千円(22,754千円)  
・ごみ収集運搬等の効率化のため、既存の車両3台を、大型塵芥車1台及びリフト付き2tダンプ（不法投棄監視パトロール車）1台に更新

◎③ 築港臨海公園記念遊具更新事業費 2,992千円(3,000千円)  
・ダニーデン市から寄贈を受けた友好親善の象徴である築港臨海公園の遊具を改修

④ 都市公園安全・安心事業費 22,063千円(39,900千円)  
・公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した公園施設の更新を進め、公園利用者の安全・安心を確保  
令和元年度：遊具更新（あかしや公園、幸中央公園、こぎくら公園、あじさい公園）

⑤ 歴史的建造物保全及び景観地区内建造物修景等事業費助成金 16,950千円(20,000千円)  
・「市指定歴史的建造物」の外観の保全に要する経費の一部を助成  
〔助成基準〕歴史的建造物の外観保全に必要な経費の1/3以内(限度額 指定歴史的建造物6,000千円、登録歴史的建造物3,000千円)  
〔令和元年度〕助成件数：3件

## 6 生きがいにあふれ、人と文化を育むまち（生きがい・文化）

☆① 文化祭実行委員会補助金 1,000千円(1,000千円)  
・第70回記念小樽市文化祭を開催（令和元年9月26日～11月3日）

② 特別展開催経費(文学館) 167千円(200千円)  
・「没後50年 伊藤整と北海道」（令和元年10月5日～11月24日）

◎③ 施設改修事業費(美術館) 14,520千円(15,000千円)  
・老朽化した美術館2階展示室の照明を幅広い展示に対応でき、省電力なLEDのベースライトとスポットライトに更新

④ 重要文化財旧日本郵船(株)小樽支店保存修理工事費 1,100千円(148,566千円)  
(うち予算現額1,720千円は平成30年度から通次繰越)  
・小樽市を代表する文化遺産である建造物の保存・活用を図るための、耐震補強工事及び保存修理を実施(平成30～令和5年度)  
・継続費事業の2年度目  
令和元年度：本館工事

⑤ 手宮公園競技場整備事業費 6,300千円(6,326千円)  
・第3種公認陸上競技場として必要な付帯設備（光波距離測定器、超音波風速計）を整備

## 7 その他の主要事業

- ① 総合計画策定関係経費 3,138千円(4,000千円)  
・令和元年度から始まる次期総合計画（令和元～10年度）を策定
- ☆② 総合戦略推進事業費 368千円(528千円)  
・現行総合戦略の進捗管理及び次期総合戦略（令和2年度～6年度）の策定に向けたアンケートの実施、小樽市人口対策会議の開催
- ③ 個別施設計画策定事業費 3,434千円(3,435千円)  
・公共施設の適正な維持管理を進める「個別施設計画」の策定に当たり、公共施設の集約化や複合化による再編の方向性を示す「公共施設再編計画」を策定(平成30～令和2年度)  
令和元年度：公共施設再編計画（案）を作成
- ④ 職員研修費 2,933千円(3,200千円)  
・職員の能力開発を進めるため、研修内容の充実を図り、外部講師等による研修を計画的に実施するほか、中堅職員育成のための先進地視察研修を実施
- ⑤ ふるさと納税関係経費 54,828千円(54,828千円)  
・まちづくり施策への賛同者の増加と地域経済の活性化を図るため、一定額以上の寄附者に対して、お礼として本市特産品を贈呈

## <国の補正予算関連>

「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」（令和元年12月5日閣議決定）を受けて措置された、国の補正予算第1号を以下の事業に活用

- ① 国直轄工事費負担金(港湾施設)  
◇第3号ふ頭岸壁改良事業費 一千円(120,000千円)  
(全額を令和2年度へ繰越)